

株式会社 JMC
(5704)

調査レポート S

2023年9月14日発行

(ポイント)

- 同社は1992年横浜市港北区に創業され、3Dプリンター事業と鋳造事業、CT事業が主な事業。
- 2016年に東京証券取引所マザーズに株式上場。2022年にマザーズからグロース市場に移行。
- 3Dプリンター事業は、製品開発を行っている顧客に対し、試作品を3Dプリンターで作製し提供。短納期にすぐれ国内のロボットメーカーや自動車メーカー、医療分野では海外へも提供している。
- 鋳造事業は、型の作製から検査までを全て自社内で完結させており、3Dプリンター同様に短納期が付加価値となり価格競争力の源となっている。
- CT事業は、産業用CTによる非破壊検査や三次元測定などを提供しており、産業用CTによるスキャン技術は製品の品質検査が求められる分野においては不可欠であり、製造規格やメーカー独自の品質検査レベルをクリアするために有効である。
- 2023年8月14日に発表した2023年12月期第2四半期の業績は、大幅な増収増益。
売上高：1,759百万円（前年同期比：36.0%増）、営業利益：299百万円（前年同期比：110.1%増）、経常利益：301百万円（前年同期比：73.8%増）、四半期純利益：188百万円（前年同期比：63.1%増）。
- セグメント別では3Dプリンター事業の売上高：336百万円（前年同期比：41.7%増）、セグメント利益：85百万円（前年同期比：168.5%増）。鋳造事業は売上高：1,220百万円（前年同期比：44.8%増）、セグメント利益：319百万円（前年同期比：101.9%増）。CT事業は売上高：202百万円（前年同期比：21.8%減）、セグメント利益：133百万円（前年同期比：19.9%増）。
- 通期予想は、売上高：3,370百万円（前年比：14.0%増）、営業利益：420百万円（前年比：19.6%増）、経常利益：405百万円（前年比：6.2%増）、四半期純利益：260百万円（前年比：5.0%増）。

(注目点)

- 「小ロット・多品種・短納期」の試作生産から「量産」までをワンストップで対応。
- 非鉄砂型鋳造で国内最大級の工場が完成（2023年9月稼働）。
試作ノウハウに「トヨタ生産方式」の概念を投入し、量産体制を確立。砂型鋳造による非鉄部品の量産を本格化する。
- 3Dプリント・CTスキャンによる解析を組み合わせることで生まれた心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID（ハートロイド）」が好調。アフターコロナにより世界各地で展示会や医療学会が再開。上期で9か所のデモンストレーションや展示を実施している。
- 鋳造事業は、好調を維持するFAロボット用量産案件に加え、EV関連の試作開発が活況である。

Research Report S

- CT事業は、大口案件減少により減収減益だが、高い利益率（65.7%）を維持している。下期は、新たに蓄電池分野での検査ニーズ獲得を進める模様である。
- 2023年12月期第2四半期の営業利益は、高い進捗率（70.8%）を達成。通期業績は会社予想を超えることが期待される。

（アナリストの視点）

- 試作から最終製品までのモノ作りを軽量金属部品（アルミ合金とマグネシウム）の製造に適した砂型鋳造とプラスチック部品の新たな製造技術である3Dプリンターとの相互補完による生産性の高いモノ作りを提唱する画期的なビジネスモデルを持つ。今後、需要の拡大が見込めるFA協働ロボット（ロボットアームなど）やEV（モーター、バッテリーケースなど）関連でファナックやトヨタからの受注が拡大し始めている。今23年度下期には自硬性砂型鋳造による高い生産性を可能にする量産対応の鋳造ラインが稼働する。3Dプリンター技術を活用した自社製品として心臓カテーテル治療トレーニングシステム「ハートロイド」を持ち、CT（コンピュータ断層撮影）の事業を持つのも強みとなる。
- 今23/12期は売上高14%増の計画であり、売上高営業利益率も12.5%の前提に営業利益420百万円、前年比19.6%増の計画であるが、中期的にトップラインは年15%超となる可能性が高く、デジタル化による砂型鋳造の生産性のアップと量産受注の拡大で売上高営業利益率も今期計画の12.5%からの更なる向上が見込まれる成長企業として注目するに値しよう。

留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として各種のデータに基づき作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがあります。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、C&A Investment Research及び、同関連会社の社員、役職員又はその家族はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。この資料の著作権はC&A Investment Researchに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送、配布、配信等を行わないようお願いいたします。